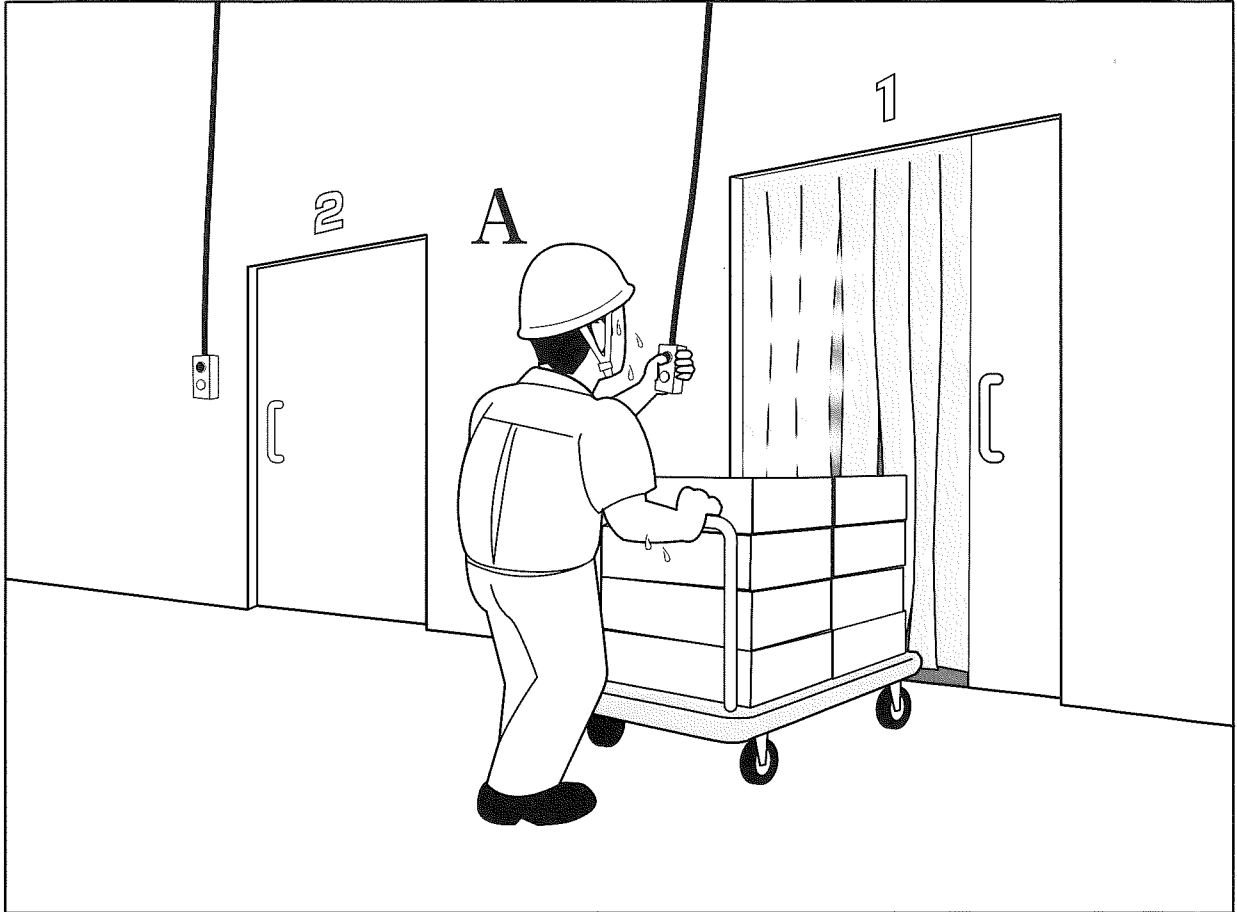


危険予知訓練シート

どんな対策が必要ですか？



《状況》真夏の暑い日、保冷倉庫（ -5°C ）へ冷凍品を搬入している。

潜在危険の例

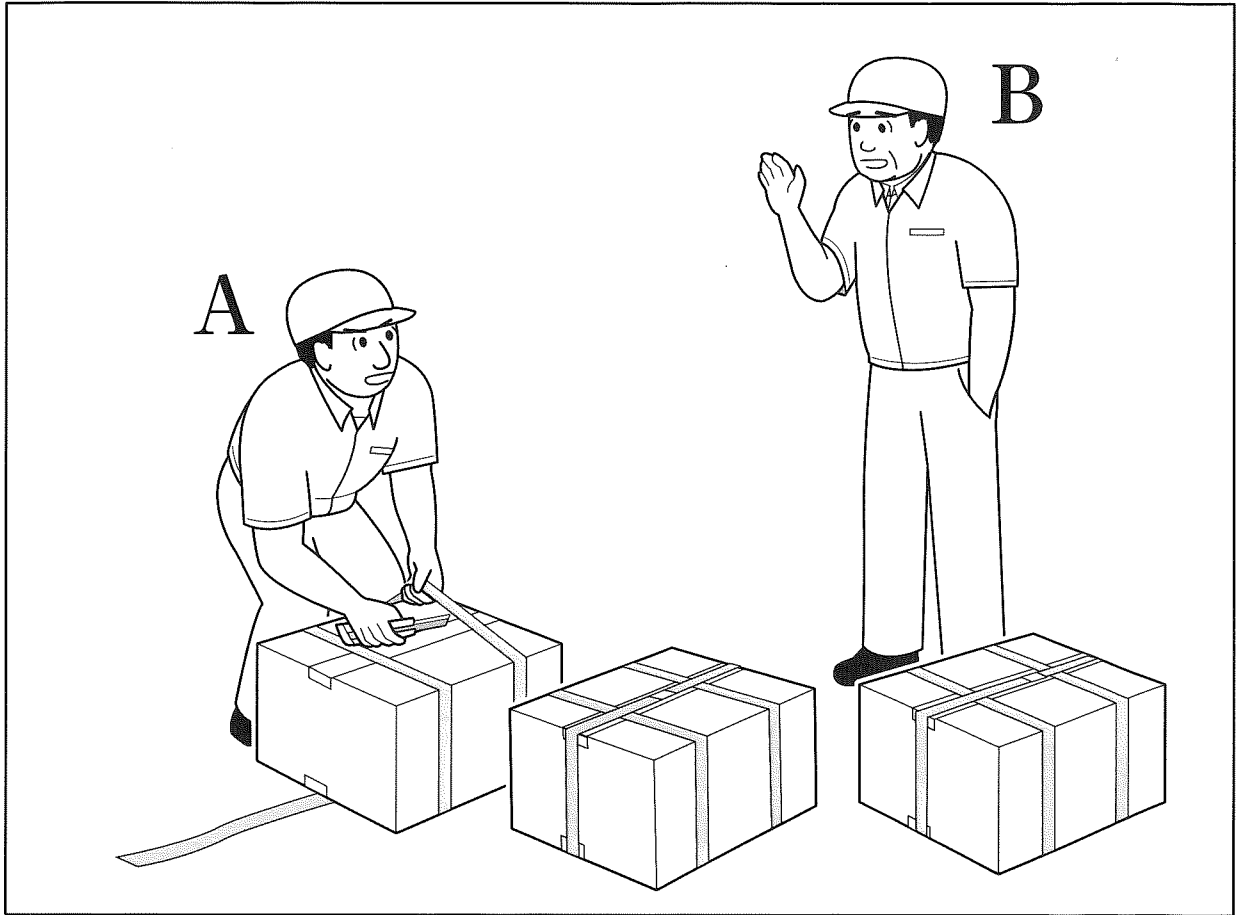
- 1 冷凍庫と外気の温度差が大きいため、Aが脳血管障害や心疾患等で倒れる。
- 2 Aは薄着のまま庫内に出入りするので、風邪を引いたり体調を壊す。
- 3 Aは庫内で作業中、電気のトラブル等で閉じ込められて出られなくなる。
- 4 庫内と庫外の明暗の差が大きいため、庫内の障害物等で転倒したり衝突したりする。
- 5 Aは荷扱いのとき腰を痛める。
- 6 Aが庫内で作業中、ケガや病気で倒れて発見されず重篤な状態になる。

必要な対策の例

- 例1 冷凍庫に入るときは（入ったら）所定の防寒衣を着用する。

危険予知訓練シート

どんな対策が必要ですか？



《状況》段ボールの荷を開梱しているAにBが話しかけている。

潜在危険の例

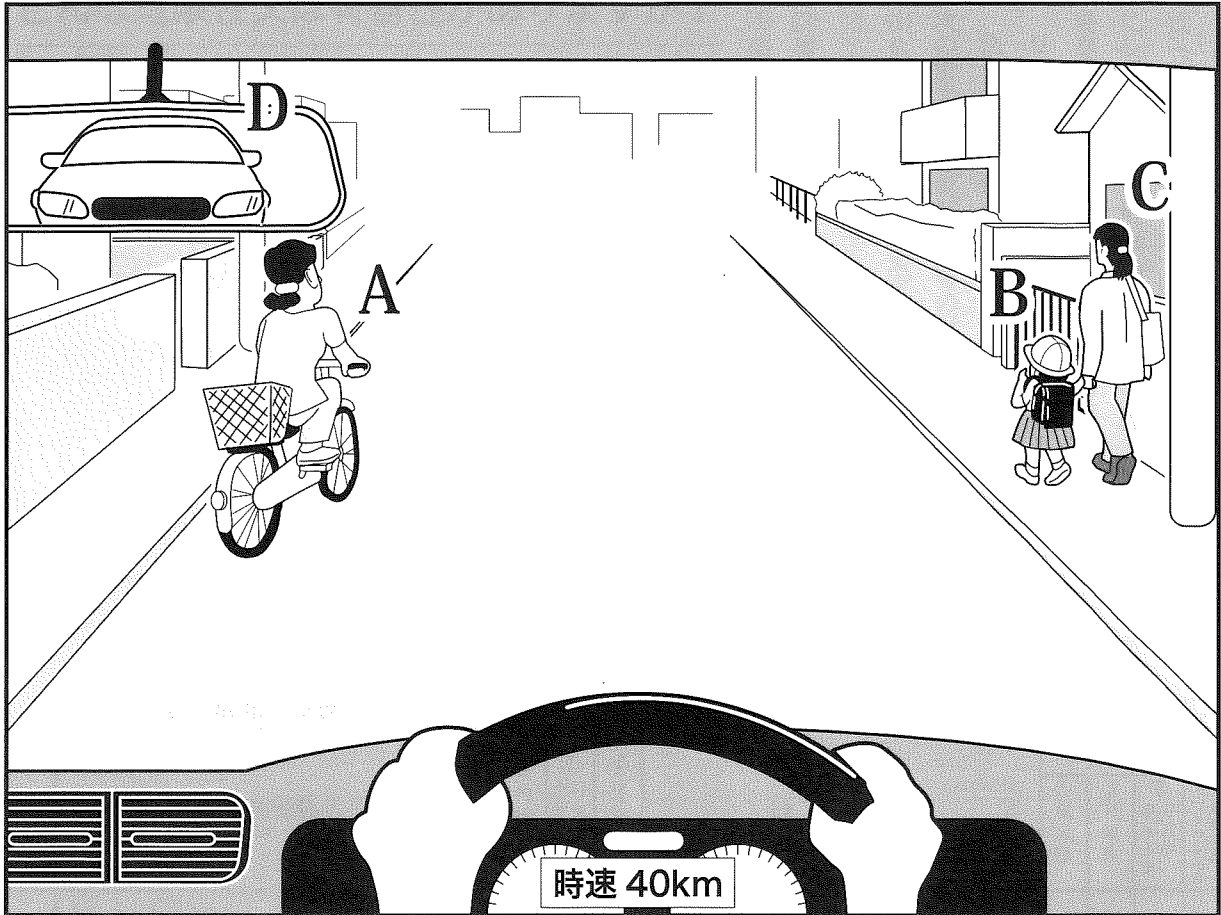
- 1 AはBと話をしながらカッターを使っているので手元が狂い、カッターで手を切る。
- 2 カッターの刃が手前に向いているので、テープが切れたとき手や体を切る。
- 3 カッターの刃が折れるので、刃が飛んでAの手や顔に当たる。
- 4 Aは梱包の荷を動かしたり持ち運ぶとき腰を痛める。
- 5 Bはハンドポケットのくせがあるので、転倒などしたときケガをする。

必要な対策の例

- 例1 カッターの使用者に話しかけない。カッターを使用中は手元から目をそらさない。

危険予知訓練シート

どんな対策が必要ですか？



《状況》道幅5mの住宅街の道路を走っている。

潜在危険の例

- 1 Aが当方の車を避けて左に寄ったとき、自転車のペダルが歩道の縁石に接触して車道側に倒れるのでAを轢く。
- 2 BがCの手を振り切って道路中央の方に出てくるので、Bに衝突する。
- 3 住宅街の路地から人や車等が飛び出してくるので衝突する。
- 4 前方のトラブルで当方が急ブレーキを掛けるのでDが追突してくる。

※5月の道交法の改正案で、車が自転車の右側を通過する際、余裕幅・安全速度の義務が課せられる。

必要な対策の例

- 例1 Aを追い越す際はスピードを落とし、Aとの間隔を1.5m以上保って追い越す。